

後期基本計画 令和 2年度 施策方針書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

施 策 : 01 公民連携による観光まちづくり

施策担当職・氏名	観光物産課総括主査 高橋 聡
-----------------	----------------

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

	地域が潤い市民とともに発展し続けるまちを目指して、市の観光資源、情報、コンテンツを情報収集・蓄積しデータベースを作成するとともに連携する団体（観光協会、商工会、農協等）、事業者、市民との情報共有化と情報交換及びビジョンの共有化を図る場の創出により市民とともに観光まちづくりにつながるシティプロモーションを推進します。
--	--

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合 単 位 %	25.9	27	29	31	33	33	-
		0	-	-	-	-	-	0.0
	単 位							
	単 位							

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推 移	平成30年度	令和元年度 (見込)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	4 年 後
1	2924 チャグチャグ馬コ関連事業 チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部出馬頭数 単 位 頭	目標値	45	45	40	40	40	40	40
		実績	38	37	-	-	-	-	-
2	3334 観光振興事業 観光入込客数 単 位 千人	目標値	430	430	430	430	430	430	430
		実績	417	0	-	-	-	-	-
3	3413 滝沢市観光協会補助事業 観光客入込み数 単 位 千人	目標値	430	430	430	430	430	430	430
		実績	417	430	-	-	-	-	-
4	3417 観光施設管理運営事業 岩手山登山者数 単 位 千人	目標値	14	14	14	14	14	14	14
		実績	14	0	-	-	-	-	-
5	4654 チャグチャグ馬コ馬資源確保事業 チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部出馬頭数 単 位 頭	目標値	45	45	40	40	40	40	40
		実績	38	37	-	-	-	-	-

後期基本計画 令和 2年度 施策方針書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

施 策 : 01 公民連携による観光まちづくり

施策担当職・氏名 観光物産課総括主査 高橋 聡

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

観光資源、観光客等顧客、コンテンツにおけるデータをまとめるものがないため、関係団体、事業者間等で情報共有ができず、データに基づく事業を展開できないことから、データベースを作成しデータに基づいて事業展開が必要と考えます。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

以前は、団体旅行が主流でしたが、インターネットの普及により旅行先の検索が簡易になったことや、核家族化により個人や少人数の旅行が中心となりました。また、地域限定の商品を求めて観光客が訪れたり、ネットで検索され購入される傾向にあります。ネットユーザーに検索されやすいホームページの作成やSNS等を活用した情報発信を行い、観光客や購買者への魅力発信することで交流人口や地域製品の売上の増加が見込まれます。

(3) 基本施策との関連性

「地域の潤いにつながる観光資源の発信」は、本施策と関連するものであり、「地域の潤い」は経済的波及効果と地域振興により実現されると考え、市民や関係団体と連携してふるさと納税を活用した地域製品のPR、地域資源の発掘とブラッシュアップを行い地域振興を図ります。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

「公民連携による観光まちづくり」のためには、地域住民の協力が不可欠であります。総合計画に掲げる「地域別計画」の中で、交流人口増加を見込める地域の宝は多くあります。しかし、交流人口を受け入れられる体制は不十分であることから、観光資源を生かし、地域づくりに取り組む市民や団体、事業者等との連携し、役割の明確化し、受け入れ態勢の整備を図ります。

また、観光に関わる情報の収集ならびに情報基盤の作成を行い、SNS等を有効活用して定期的に情報発信を行い、市民や観光客による自発的な情報を発信を促し、観光客との継続的なつながりを持てる環境を構築します。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題

令和元年度より、地域おこし協力隊員を配置しており、地域資源の掘り起こしとSNS等を活用し、地域の魅力発信を行い、交流人口拡大を目標としたコンテンツ開発を図ります。

また、ふるさと納税を活用した地域製品のPRを行い、経済波及効果と地域振興を図ります。

(3) 基本計画内方針及び令和 2年度重点課題に基づく優先順位の考え方

個人が地域の構成員であると自覚し、さらに良い場所にしていこうとする想い（シビックプライド）の醸成を行うことで、地域活動を行う中心的な活動を行う人材育成を進めます。

